

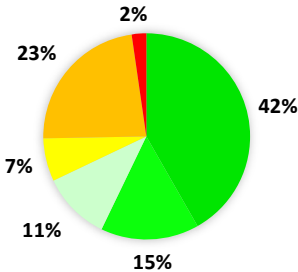
▼理工学域授業全体

対象科目		履修者数	回答者数	回答率
数物科学類	92 科目	1259	530	42.1%
物質化学類	72 科目	1658	642	38.7%
機械工学類	75 科目	1939	708	36.5%
電子情報通信学類（電子情報学類を含む）	50 科目	1846	977	52.9%
理工一括	0 科目	0	0	
フロンティア工学類	58 科目	2073	1122	54.1%
地球社会基盤学類	58 科目	1846	699	37.9%
生命理工学類	56 科目	1163	652	56.1%
学域共通	69 科目	3108	1304	42.0%
計		14892	6634	44.5%

▼設問毎の集計結果

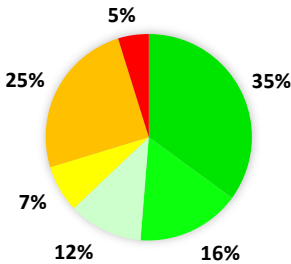
問 1 この授業は、あらかじめシラバスに示された学修目標や授業計画に沿って行われましたか？ 10段階評価														
	評価-5	評価-4	評価-3	評価-2	評価-1	評価1	評価2	評価3	評価4	評価5	計	未回答	履修者数	
	回答数	36	16	33	38	29	1524	447	716	1026	2769	6,634	8258	14,892
	(回答数の割合)	0.5%	0.2%	0.5%	0.6%	0.4%	23.0%	6.7%	10.8%	15.5%	41.7%			
	(未回答も含む割合)	0.2%	0.1%	0.2%	0.3%	0.2%	10.2%	3.0%	4.8%	6.9%	18.6%	44.5%	55.5%	

問 1：授業内容の適切性



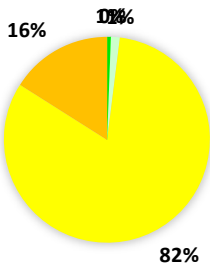
問 2 担当教員の説明の仕方 10段階評価														
	評価-5	評価-4	評価-3	評価-2	評価-1	評価1	評価2	評価3	評価4	評価5	計	未回答	履修者数	
	回答数	61	29	71	78	83	1649	489	770	1081	2323	6,634	8258	14,892
	(回答数の割合)	0.9%	0.4%	1.1%	1.2%	1.3%	24.9%	7.4%	11.6%	16.3%	35.0%			
(未回答も含む割合)	0.4%	0.2%	0.5%	0.5%	0.6%	11.1%	3.3%	5.2%	7.3%	15.6%	44.5%	55.5%		

問2：担当教員の説明



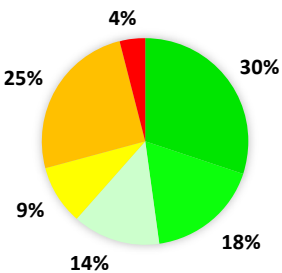
問3 授業外学修時間 15分単位												
	0分	15分以内	16分～30分	31分～45分	46分～60分	61分～75分	76分～90分	91分～100分	計	未回答	履修者数	
	回答数	1063	5350	85	12	83	3	0	38	6,634	8258	14,892
	(回答数の割合)	16.0%	80.6%	1.3%	0.2%	1.3%	0.0%	0.0%	0.6%			
(未回答も含む割合)	7.1%	35.9%	0.6%	0.1%	0.6%	0.0%	0.0%	0.3%	44.5%	55.5%		

問3：授業外学修時間



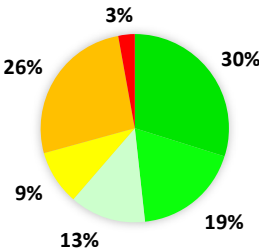
問4 授業理解度 10段階評価														
	評価-5	評価-4	評価-3	評価-2	評価-1	評価1	評価2	評価3	評価4	評価5	計	未回答	履修者数	
	回答数	46	26	49	76	66	1670	623	909	1172	1997	6,634	8258	14,892
	(回答数の割合)	0.7%	0.4%	0.7%	1.1%	1.0%	25.2%	9.4%	13.7%	17.7%	30.1%			
(未回答も含む割合)	0.3%	0.2%	0.3%	0.5%	0.4%	11.2%	4.2%	6.1%	7.9%	13.4%	44.5%	55.5%		

問4：授業理解度



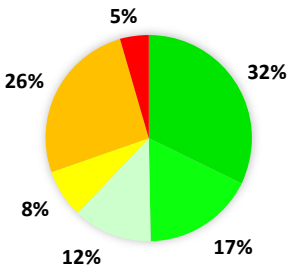
問5 学修目標達成度 10段階評価														
	評価-5	評価-4	評価-3	評価-2	評価-1	評価1	評価2	評価3	評価4	評価5	計	未回答	履修者数	
	回答数	45	7	32	52	55	1751	620	872	1226	1974	6,634	8258	14,892
	(回答数の割合)	0.7%	0.1%	0.5%	0.8%	0.8%	26.4%	9.3%	13.1%	18.5%	29.8%			
(未回答も含む割合)	0.3%	0.0%	0.2%	0.3%	0.4%	11.8%	4.2%	5.9%	8.2%	13.3%	44.5%	55.5%		

問5：学修目標達成度



問6 授業満足度 10段階評価											計	未回答	履修者数
	評価-5	評価-4	評価-3	評価-2	評価-1	評価1	評価2	評価3	評価4	評価5			
回答数	75	22	61	67	73	1714	500	824	1157	2141	6,634	8258	14,892
(回答数の割合)	1.1%	0.3%	0.9%	1.0%	1.1%	25.8%	7.5%	12.4%	17.4%	32.3%			
(未回答も含む割合)	0.5%	0.1%	0.4%	0.4%	0.5%	11.5%	3.4%	5.5%	7.8%	14.4%	44.5%	55.5%	

問5：授業満足度



問7

授業全般に関する自由記述

※複数回答は（ ）で回答数を表記。

・ 映像が見にくかった、音声聞き取りにくかった（10）

・ KINDAIDOGAが使いにくかったのが課題の妨げになった。

・ ホワイトノイズなどで講師の方の声がとて聞き取りづらかったので改善していただきたい（2）

・ 起業について詳しく知ることができてよかった（8）

・ 動画の中で述べられることが似通ったものが多く、後半の講義ではマンネリ感があった。

・ 自分の時間で、講義を受けることができるので、取り組みやすかった。

・ 起業に着いての印象が変わった。もっと難しいことだと思ったが、自分も挑戦できると思わせてくれた。起業してみようかなと思った。

・ 今後の進路として、起業という選択肢を考えさせるのにとて良い授業だと思った。

・ 配布された映像のついて、講師の声が小さかったり雑音が大きかったりして音声聞き取りにくかった。

・ 起業について初めて知ることばかりで、起業への関心が高まってよかった。

・ 今回の講義を通して大学生時代には色々な可能性があり、また挑戦しようと思える機会ができた。

・ レポート作成は大変でしたが、頑張りました。

・ 私はこの集中講義を通して、大学生の間で起業することはこれからの生活に繋がっていくものだと思います。また、各週で視聴した動画で起業をするまでの道のりを把握することができました。

・ 動画視聴を通して起業に関する事柄を学べました。特に起業に関して興味がない人にも少しでも興味を持つことができるような内容だったと思います

2024年度前期（Q2） 理工学域 授業改善のための学生アンケート

理工学域全体

- ・成功した大人から貴重な話を聞いた
- ・自分が要約の能力を全く持っていないことを知った。起業に向けての基礎知識が学べたため選択肢が広がったと思う。
- ・テンプレート通りに書くという指定がある以上、そのテンプレートが崩れないように配慮してほしい。
- ・まさかオンラインになってしまうとは想定外だった。火曜の5限ということで間が空くような人が多いような気がした。対面よりもオンラインのほうが案外柔軟に受講することができることはよかっただろう。
- ・オンデマンド形式の講座はいいと思う。
- ・貴重なお話をたくさん聞くことが出来て良かったです。
- ・初回の講義から、やることに特に関心がない、シラバスをその場で作る、など、授業に対する教授のなかなかな態度が見られたため、学生側も当該授業に対して「その程度の取り組み姿勢で良いのか」と感じられるものであった。聴講の内容自体は興味深いものであった。
- ・起業について理解すると同時に深く興味を持てた。
- ・オンラインのみだから内容があまり頭に入らないかと思ったが、意外とためになった。
- ・毎回違う内容について学べて良かったです。
- ・講堂の大きさに比べ履修者が多すぎます。
- ・レポート形式で知識の再確認ができた
- ・〇〇〇の授業で理念と実践的な方法の両方をバランス良く教えていただいた点が良かった。
- ・一年生の復習ができてよかった。
- ・研究室を実際に見学したことで、自分の学びたい内容に関する分野での興味関心が高まった。
- ・〇〇〇コースではどのような研究が行われているか理解できた。2年後自分がどのような研究に携わりたいかを考えるきっかけになった。
- ・興味深い内容で、研究室の紹介も楽しいものであった。
- ・科学に関する知識を増やすことができた。
- ・研究室に興味を湧くような講義が多く満足度が高い。
- ・とても分かりやすく授業一回一回で話題が切り替わるので聞いていて楽しかった。
- ・〇〇に関する様々な科学技術を知ることができてよかった。
- ・「味」に関する講義がおもしろかったです。
- ・様々な〇〇学の分野について学べてよかった。
- ・授業スライドの説明でどこについて話しているのか分かりにくかった
- ・独り言のようで何を言っているかわかりづらかった
- ・エクセルファイルの作成時間を減らして、pythonで書かれたアルゴリズムの問題を解く演習時間を設けるべきだと思う。
- ・講義資料が少なくそれだけで内容を理解し課題に取り組むというのは少し無理があると感じた。
- ・スライドが分かりづらかった。もう少し分かりやすいように改善してほしい。
- ・〇〇学の観点から科学を考えることができた。

- シラバスには対面と書かれているのにオンデマンド形式だったのでシラバスも最新のものにすべき

- ・レポートやプレゼンテーションの内容についてアドバイス教員がたくさん指摘やアドバイスをしてくれたことで、毎時間質の高いディスカッションをすることができた。
- ・プレゼンの作り方などが理解できたので良かった。
- ・友達と作業できるのが知識が深まってよかった。
- ・自分たちは他に1つのグループのプレゼンしか聞くことができなかったのも、あと2グループほど多くのプレゼンを聞いたかった。
- ・調査の過程で特定の化学分野を詳しく知ることができてよかった。プレゼンの流れも理解することができた。
- ・担当教員によってかなりスタンスが異なり、進め方が難しいことがあったので全体の進め方を事前に配布してほしかった。
- ・想像以上に調べるという作業が難しかったが、今後の大学生活を送るうえで役に立つスキルをわずかながら身につけられたと思う。
- ・研究した成果をみんなの前で自身の意見を述べながら発表する機会は十分貴重なので今後活かしていきたい
- ・プレゼン資料の作成方法、情報収集などを学ぶことができた(7)
- ・グループによって進め方や講義にかかる時間があまりに違い違和感があった。
- ・班員の人も仲良くなることができたので良かったです。
- ・分かりやすい説明だった。

- ・プレゼンする上での注意すべき点についてしれてよかったです。
- ・教授のアドバイスをもらえるので、安心して進めることができた。
- ・自分たちのテーマに対してしっかりと調べてきて、修正することも

・同じ班の人がプレゼン資料の製作がとても得意な人でその点ではプレゼン資料の作り方など大きく学びました。先生からもプレゼン資料の作り方、見せ方など学びました。少人数での発表だったので大事な部分のみを考えて緊張もせず発表できました。資料の作り方など班によって少し差が大きいと友達としゃべっていて感じました。統一できればいいのではないのかと考えました。プレゼンはまだうまく話せないことが多いですが大学入学して最初のプレゼンの授業としては取り組み易く多く学びました。

- ・ 班で協力し様々な問題の解決策を考えることで現在の地球の問題についてより関心が深まった。
 - ・ 授業時間の大幅超過の居残り、1度でも欠席したら落胆にすると脅されるなど、（他のグループは授業時間の二分の一程度かつ、授業の三分の一出席すればいいと説明を受けていた）〇〇先生の態度に対して、正直気分がとても悪かった。
 - ・ 担当教員によってクオリティに差が出ていると感じました。
 - ・ 毎回の課題が多かった
 - ・ 担当教員の先生にかなりばらつきがあるかもしれない。私たちの班は真摯な教授さんだったが他の班ではなかなかまとまらないなど苦戦を強いられているところもあったと聞いている。キツイと感じる人が来年は減るようなことがあればありがたいです。
 - ・ 毎回ズームで講義をすることはおかしい。学生はグループワークの時間を割いて集合しているのにズーム講義ならば、オンデマンド形式でも十分に情報共有ができると思う。また、課題の提出方法や提出期限が不明瞭で誰がどこまでを1人で作業するのが理解しづらい。
- また、この教科は可否の2段階評価では判断できないほど人によって費やす時間や取り組みの態度に差がある。グループワークの間、スマホを触って一言も話さない人も、スライドを直前まで一枚も作らない人も、同じグループで発表をすれば合格という同じ評価がされることに納得できない。人によっては毎回複数枚の新しいスライドを作り、教授や調査に協力してくださった機関の方のお話の要約メモを作る。しかしながら、グループでそれを共有した途端に誰が作成したかは評価に無関係である。また、アドバイス教員の熱量の差によって、発表に行き着くまでの過程が大きく異なる。テスト期間と発表が重なるため、熱心に指導してくださるアドバイス教員のお話も十分に汲み取る事はできない。自分で問題を定義し、調査をし、解決策を考え、それを予備知識のない学生に伝えるというこの過程は学びが多いと感じる。だからこそ、学生全員の足並みを揃えるべきである。さらに学生の競争心や向上心を高めるためにSABCの評価を用いるべきである。
- ・ 担当の〇〇先生が教えてくださってやりきることができた
 - ・ プレゼンと小論文の基礎を身につけることが出来て良かったです。
 - ・ 他の班の発表がどれも興味深いものであったため、それを聞くために自分たちも頑張ったかいがありました。
- 担当教員の〇〇先生に多くのご指導をいただき、感謝の気持ちでいっぱいです。
- ・ 人前で発表する経験や、グループで協力してやり遂げるという経験が得られたのでとても良かった。
 - ・ グループで協力し、金沢を知り、プレゼンの方法などを学べた。
 - ・ 班員によって仕事量が大きく違ってしまって不満が残った。
 - ・ プレゼンディベート論は活発に活動する人とならない人の差が大きいように感じた。
 - ・ テーマなどを押し付けたりせずに授業を進めてくれる点が非常に嬉しい。
 - ・ プレゼンの上手な仕方を他の学生から学ぶことが出来た。
 - ・ 時間指定が短すぎて、何回か行えずあまりよくないと思いました。
 - ・ 専門的な英語を学べた。
 - ・ 理工系の英語について理解を深めることができた。
 - ・ オンデマンド形式でよかった。
 - ・ 学域共通科目ということもあり仕方ないことかもしれないが、できれば関係ない他の分野の内容は含めないでほしい。
 - ・ とても興味深かった。（7）
 - ・ 理系英語をしっかり習得できたと思います。

2024年度前期（Q2） 理工学域 授業改善のための学生アンケート

理工学域全体

- ・テストだけ対面でいいのではないかと思った。
- ・理系英単語について学ぶことができた。長文読解ももう少しあるといい練習になると思った。
- ・これから使うであろう単語などに知れた
- ・理系の専門用語を英語で覚えることができた。
- ・理系の英単語を学ぶことができました。
- ・休講が多いと思った
- ・講義資料をLMSに上げてほしいと感じた。（2）
- ・〇〇〇の活用方法などについて理解を深めることができた。
- ・採点結果をおしえてほしい。
- ・説明が細かく丁寧で分かりやすかった。
- ・Q2が始まる前に、予習としてLMSに資料が上がっていたことで、プログラミングに関して積極的に学ぶことができた。
- ・丁寧な説明があり理解することができました。
- ・毎回の課題の点数を確認できるようにしてほしい。
- ・マクロの活用について学べた。複雑な計算をマクロによって効率的に計算することに慣れていきたい。
- ・難しい課題も多かったと感じた。
- ・プログラミングに慣れることができた。